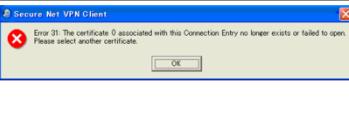
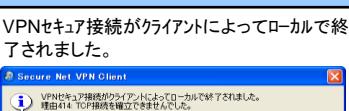
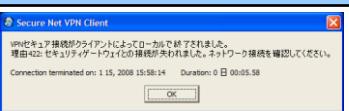


VPNクライアント1向け接続エラー対応手順

エラーコード*	原因	対処方法
エラー31: The certificate() associated with this Connection Entry no longer exists or failed to open.Please select another certificate		
	<ul style="list-style-type: none"> VPNクライアント初期設定画面(接続エントリー)で、該当する証明書の名前が選択されていない。 USBトークンを挿してからVPNを立ち上げるのが早すぎる。 	<ul style="list-style-type: none"> VPNクライアント初期設定画面(接続エントリー)で該当する証明書の名前を選択する。 証明書の名前と一致するUSBトークンを利用する。 USBトークンをUSBポートに挿した後、暫く待ってからVPNクライアントを起動する。
エラー32: 証明書”SNU*****”を確認できません。		
	<ul style="list-style-type: none"> USBトークンが認識されていない。 ルート証明書が参照できない。(Windows Vistaの不具合) ルート証明書をインポートしていない。 	<ul style="list-style-type: none"> USBトークンを挿し直して、ルート証明書をインポートする。 Windows Vistaの場合はMSパッチ (KB932156) を適用する。 http://support.microsoft.com/kb/932156 ルート証明書をダウンロードし、インポートする。 http://www.japannet.jp/securenet/repository/index.html
理由403: セキュリティゲートウェイに接続できません。		
	<ul style="list-style-type: none"> デフォルトゲートウェイと通信ができていない。 	<ul style="list-style-type: none"> 再接続をする。 PCの再起動をする。 インターネットの閲覧が可能かを確認する。 無線LANを使用している場合は、有線LANで接続可能かを確認する。 コマンドプロンプトを起動し、ipconfig /allを入力する。デフォルトゲートウェイが空白の場合や、IPアドレスが169.254.**の場合は、DHCPサーバ、ブロードバンドルータやPCのTCP/IPを確認する。 Windowsファイアウォールの設定を変更する。 ファイアウォールソフトの設定を変更する。 ルータにIPSecパスルーやVPNパスルー機能があれば有効にする。 ルータにUDP500や4500の通信制限がかかっているかを確認する。 ルータを利用の場合、ルータのファームウェアをバージョンアップしたことで不具合が解消される場合あり(アップデート方法や詳細については購入元やメーカーまで)。
理由412: リモートピアは応答していません。		
	<ul style="list-style-type: none"> インターネットの通信が確立できていない。 パスワード(PINコード)の入力に、時間がかかっている。 	<ul style="list-style-type: none"> 再接続をする。 PCの再起動をする。 インターネットの閲覧が可能かを確認する。 ウィルスバスターソフトを使用している場合は例外設定を行う。 VPNクライアント初期設定画面(接続エントリー)を開き、ホストのIPアドレスが正しいか確認する。 接続エントリーの証明書の選択が誤っていないか確認する。 Windowsファイアウォールの設定を変更する。 ファイアウォールソフトの設定を変更する。 ルータにIPSecパスルー機能があれば有効にする。 ルータにUDP500や4500の通信制限がかかっているかを確認する。 VPNクライアント初期設定画面(接続エントリー)で“IPSec over UDP”の設定を“IPSec over TCP”に変更する。 ルータを利用の場合、ルータのファームウェアをバージョンアップしたことで不具合が解消される場合あり(アップデート方法や詳細については購入元やメーカーまで)。
理由414: TCP接続を確立できませんでした。		
	<ul style="list-style-type: none"> インターネットの通信が確立できていない。 	<ul style="list-style-type: none"> 再接続をする。 PCの再起動をする。 インターネットの閲覧が可能かを確認する。 Windowsファイアウォールの設定を変更する。 ファイアウォールソフトの設定を変更する。 ルータにTCP10000の通信制限がかかっているかを確認する。 VPNクライアント初期設定画面(接続エントリー)で“IPSec over TCP”の設定を“IPSec over UDP”に変更する。
理由422: セキュリティゲートウェイとの接続が失われました。ネットワーク接続を確認してください。		
	<ul style="list-style-type: none"> インターネットが切断された。 	<ul style="list-style-type: none"> インターネット接続状態を確認して再接続する。 インターネットの閲覧が可能かを確認する。 無線LANを使用している場合は、有線LANで接続可能かを確認する。
理由427: ピアで不明なエラーが発生しました。		
	<ul style="list-style-type: none"> 前回切断時の処理が正常終了しておらず、二重ログインになるため接続不可になっている。 	<ul style="list-style-type: none"> 暫く待ってから再接続をする。 VPNクライアント初期設定画面(接続エントリー)の「認証」タブを開き、「証明書の認証」で、指定の証明書が選択されているかを確認する。 無線LANを使用している場合は、有線LANで接続可能かを確認する。

エラーコード*	原因	対処方法
理由430: 設定された最大接続時間を超えました。		
	<ul style="list-style-type: none"> VPNセキュア接続がピアによって終了されました。 	<ul style="list-style-type: none"> 規定の連続接続時間(8時間)を過ぎている。 再接続する。
理由431: 設定されたセッションの最大アイドル時間を超えました。		
	<ul style="list-style-type: none"> VPNセキュア接続がピアによって終了されました。 	<ul style="list-style-type: none"> 規定の無通信接続時間(30分)を過ぎている。 再接続する。
理由440: Driver Failure		
	<ul style="list-style-type: none"> VPNクライアントによってローカルで終了されました。 	<ul style="list-style-type: none"> VPNクライアントのドライバエラー。 PCの再起動をする。 VPNクライアントをアンインストールして、再インストールする。 Windows Vista/7の場合は、「システムの復元」で前回正常にセキュアネットワークに接続ができた時まで戻る。またはVPNクライアントのインストール前の状態にまで戻る。
理由442: Failed to enable Virtual Adapter.		
	<ul style="list-style-type: none"> VPNクライアントによってローカルで終了されました。 	<ul style="list-style-type: none"> VPNクライアントのドライバエラー。 Vista/7固有のネットワーク機能の問題。 PCの再起動をする。 VPNクライアントをアンインストールして再インストールする。 Windows Vista/7の場合は、「システムの復元」で前回正常にセキュアネットワークに接続ができた時まで戻る。またはVPNクライアントのインストール前の状態にまで戻る。 Windows Vista/7の場合は、共通バッチファイルを適用する。 詳細は、PDFファイル「Vista/7共通バッチファイルの適用手順」を参照。
理由443: The Smart Card associated to the current certificate was removed.		
	<ul style="list-style-type: none"> VPNクライアントによってローカルで終了されました。 	<ul style="list-style-type: none"> USBトークンが抜けている。 USBトークンが、USBポートから抜けていないか確認する。 VPNクライアントを一旦終了し、USBトークンの挿入先ポートを変更して再接続する。 USBハブを使わずに直接PCに挿入する。
このインストールパッケージはこの種類のプロセッサでサポートされていません。プロダクトベンダーに問合せください。		
	<ul style="list-style-type: none"> Windows7 (32bit) に64bit対応のソフトをインストールしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 32bit対応のソフトをインストールする。